

いかわのぞむ税理士事務所の井川 望先生（写真）は、お客様への貢献を胸に、税理士業務の枠を超えて経営のお悩みに寄り添います。舞台役者だった経歴を生かし、セミナー講師としても活躍中です。

—— 井川先生のご経歴を伺います。

井川 私は高校を2年で中退し、通信制の高校を卒業してから、4年ほど劇団に所属して役者として活動しました。役者の道を諦めて税理士になることを決意したのは、22歳のときです。きっかけとなったのは、役者時代にアルバイトとして大阪で税理士をしている父の事務所に勤めたことでした。

私の場合、1年に1科目ずつ、一球入魂という気持ちで受験して、5回目の試験で無事に合格しました。

—— 一度も不合格になつていないのですね。勉強にはどのように取り組まれたのでしょうか。

井川 まず勉強を始める前に、「好きなことを5つやめる」と決意して、演劇、本、パソコン、テレビ、ゲームをやめました。そこから捻出した時間を全て勉強に充てた感じです。少なくとも1日10時間は勉強していました。

そのほかには、受けた模試を満点が取れるまで解き続けました。間違えればコンビニに問題をコピーしに行つて再び解いて……。朝までそれを繰り返ししたこともあります。

—— 心が折れてしまうことはありませんでしたか。

井川 私の場合、演劇の道を諦めて選んだことから、まさに背水の陣と

いう気持ちでした。その危機感で、自分を奮い立たせることができたと思います。

—— 役者としての経験が税理士の仕事に生かされることはありますか。

井川 セミナーで講演するとき、自分が決めたとおりに話すことができます。役者の頃、同じ演劇を同じクオリティで何度もやってきたことですから、おかげで聴講者のアンケート結果から、講演の精度を徐々に上げることができています。自分の決めた内容を話せていなかったら、たとえよい評価をもらっても何がよかったか分からず、次に生かせないと思います。

井川 「今、目の前にいる人の幸せに貢献する」です。相手の利益に貢献し続けていけば、顧問税理士として長い期間お付き合いができて、その結果、報酬として返ってきたり、新しい顧客の紹介につながったりします。前は、よい案があってもそれが自分の儲けになるかどうかを考えてしまっていました。今は、お客様のためになる提案

—— 今後、先生が取り組みたいことをお聞かせください。

井川 コンサルティングに取り組みたいです。経営者が抱えるお悩みのほとんどは、資金繰り、人間関係、事業計画を含めた将来の目標の3つですから、この3本柱に対応できるように常に勉強しています。

特に自分で開業してからは、経営者のお悩みが自分のこととして理解できるようになりました。お客様に納付書を渡すとき、勤務時代は当事者意識を持てていなかったと思いますが、今は支払う痛みを理解できていると思います。最近、税務会計の話より、経営のお悩みを聞かせていただける時間のほうが圧倒的に長くなりました。

—— 本日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。

—— 4年半での合格は、大変苦労されたのではないのでしょうか。

井川 税理士になることを決めてからは、勉強に専念しました。働きながら合格することがいかに大変なことか、先輩方の姿を見て知っていましたし、私自身が高校生のときから勉強をしていない状態だったからです。

—— 本日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。



井川 望（いかわ・のぞむ）

いかわのぞむ税理士事務所・代表税理士。1982年生まれ。大阪府出身。幼少期に親たミュージカルに感銘を受けて舞台役者となる。初舞台の役は証券マン。その後、役者としての生計を立てるために始めた父親の税理士事務所での勤務経験を機に税理士を志し、27歳で官報合格。32歳で独立して現在に至る。

いかわのぞむ税理士事務所

所在地：東京都豊島区西池袋 3-21-13-710

電話：090-5465-2897